

中国遼寧省における「とやま県産品セミナー」の開催について

平成30年9月

富山県総合政策局国際課

平成30年8月7日（火）、中国遼寧省の在瀋陽日本国総領事公邸において、在瀋陽日本国総領事館との共催で、富山県の優れた伝統工芸品の展示・実演、和菓子の制作実演、富山の地酒や食、観光などの紹介などを通して、富山県の魅力を現地メディア、バイヤー、政府関係者、学術機関関係者、旅行会社等にPRする「とやま県産品セミナー」を実施しました。

1 オープニングについて

- 冒頭、石塚在瀋陽日本国総領事より、富山県の皆さんが自ら遼寧省に赴き、富山県の魅力的な県産品を知ってもらうセミナーが、日中平和友好条約締結40周年という節目の年に開催されることは大変意義があり、このような富山県の取組みに対し敬意を表すること、瀋陽も稀にみる猛暑であるが、富山県の高岡銅器の涼やかな音色や冷えた美味しい富山の地酒を存分に楽しんでもらい、暑さを忘れてほしい等の挨拶がありました。
- 石井知事からは、富山県伝統工芸品などがここ数年ニューヨーク、ミラノ、パリ等で国際的にも高い評価を受けており、今回は高岡銅器や和菓子の職人、日本酒の専門家によるプレゼンテーションを予定しているので、存分に楽しんでいただきたい、また遼寧省とは今後ともWin-Winの関係でともに発展していきたい等の挨拶を行いました。
- 来賓である応中元（おうちゅうげん）遼寧省外事弁公室主任からは、自分は旅遊局で長い間働いたこともあるため富山県を10回以上訪問したことがあり、富山県には大変魅力的な観光資源が豊富であることをよく知っていること、今回のセミナーに参加される人には是非富山県を一度訪れてほしい等の発言がありました。



エントランス



石塚総領事の挨拶



石井知事の挨拶



遼寧省外事弁公室応主任の挨拶

2 匠の技のプレゼンテーションについて

○次に、「匠の技のプレゼンテーション」と題して、①高岡銅器の仏具・おりん製作者の島谷好徳さんによる調律前と調律後の「おりん」を言い当てるクイズやおりん製作の過程で、その技術を活用して生まれた商品「すずがみ」のたたきの実演、②和菓子職人である引網康弘さんの上生菓子による動物などの様々な造形の話、③日本酒の専門家である細田真さんによる富山県の美味しい地酒を育む良質で豊富な水などについてのプレゼンテーションが行われました。来場者は、熱心に各プレゼンテーションに聞き入ったり、写真を撮ったりしていました。



プレゼンテーション会場



匠の技のプレゼンテーション
(高岡銅器：島谷さん)



匠の技のプレゼンテーション
(和菓子：引網さん)



匠の技のプレゼンテーション
(日本酒：細田さん)

3 各ブースでのPRや郷土料理の提供について

○匠の技のプレゼンテーション終了後には、会場内に各種ブースや飲食コーナーを展開しました。島谷さんによる「おりん」や「すずがみ」の実演コーナー、引網さんによる上生和菓子の実演・試食コーナー、細田さんらによる満寿泉、幻の瀧の解説・試飲コーナーがそれぞれ設置され、多くの人が興味深そうに写真を撮ったり質問したりするなど、大きな賑わいを見せました。

○上記の実演コーナーのほかにも、伝統工芸品PRブース、県産米PRブース、観光PRブース等を設け、PRを行いました。

○さらに、公邸料理人と連携して、鱒のすし、ゆべし、ナスとそうめんのおつけなどの富

山郷土料理の提供も行いました。特に、鱒のすしには県産米PRブースで展示しているものと同じ富山県産米を使用しました。来場者には、テーブルいっぱいの郷土料理の数々をご賞味いただき、おいしい県産米の消費拡大のきっかけとなっただけでなく、富山の食文化についても理解を深めていただくことができました。



ブース展開の様子



高岡銅器実演コーナー



和菓子実演コーナー



日本酒試飲コーナー



来場者でにぎわう各PRブース



公邸料理人と連携した富山県の郷土料理

4 終わりに

○今回、在瀋陽日本国総領事公邸でのとやま県産品フェアが大成功に終わりましたのは、ひとえに在瀋陽日本国総領事館をはじめとする皆様の多大なご支援・ご協力によるものです。重ねて厚くお礼申し上げます。

○富山県には、豊かな自然とそこで育まれた多彩な文化・産業があります。今後もこのような機会を通じて富山県の魅力を積極的に発信していきたいと思っております。